

## 地下鉄・市バスお客様1日80万人に向けた 取組状況について

- 1 平成29年度 地下鉄・市バスお客様数  
【参考1】 地下鉄・市バス別のお客様数について  
【参考2】 地下鉄駅別のお客様数について
- 2 重点方針を踏まえた29年度の主な取組例
- 3 今後の取組  
【参考3】30年度・31年度の主なホテルの開業予定  
【参考4】市バス・地下鉄経営ビジョンの策定

# 1 平成29年度 地下鉄・市バスお客様数(速報値)

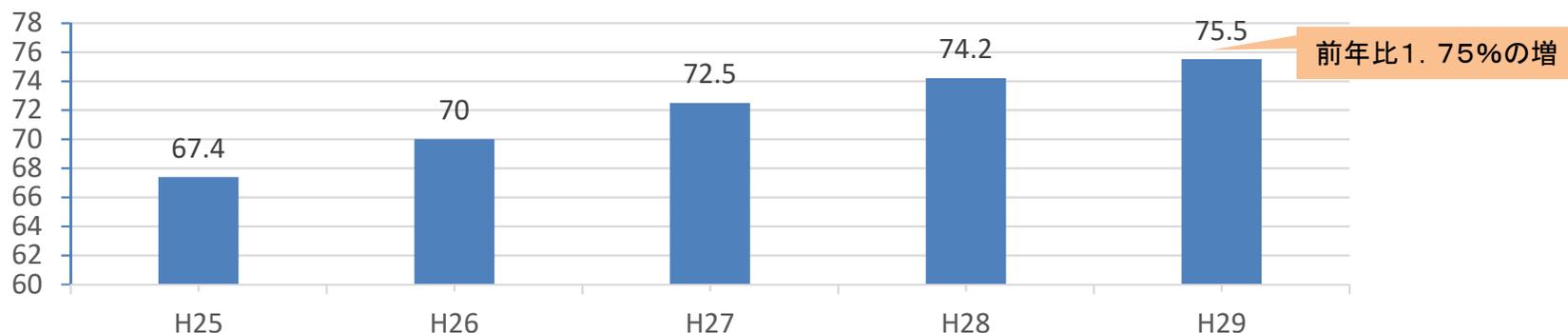
○29年度の地下鉄・市バス両事業合計のお客様数は1日当たり75万5千人となり、28年度の74万2千人から1万3千人増(+1.75%)となりました。

○増客の主要要素としては、定期券御利用のお客様が増加したことが挙げられ、前年比8千人(+3.40%)増となりました。これは、IC定期券の導入による利便性の向上や、歩くまち 京都の取組が進んだことによるものと考えられます。

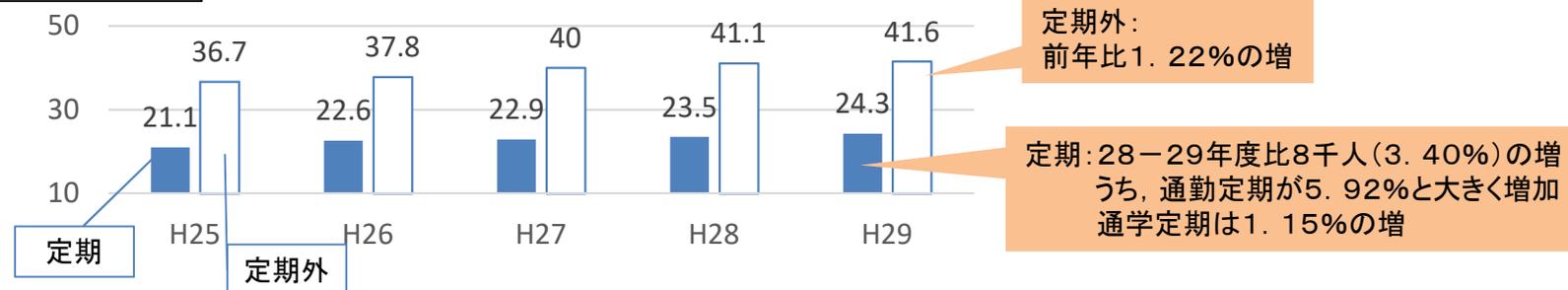
○また、現金等の定期外のお客様数は前年比5千人(+1.22%)の増となっており、イベントの集客(二条城等)が好調であったことによるものと考えられます。

【25～29年度地下鉄・市バスのお客様数比較(\*1日当たり, 単位:万人)】

全体



定期・定期外



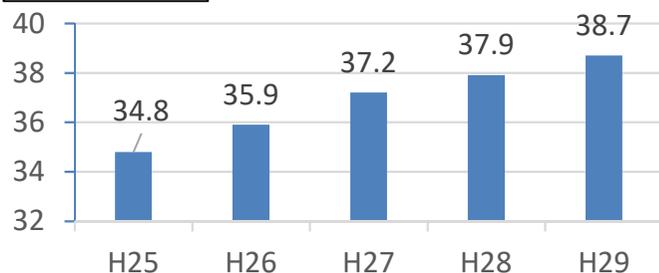
# 【参考1】 地下鉄・市バス別のお客様数について

## ① 地下鉄お客様数

29年度の地下鉄のお客様数は38万7千人で、対前年比で8千人増(+2.1%)となりました。  
うち、定期券は5千人増(+3.6%)、定期外は3千人増(+1.4%)でした。

【25～29年度 地下鉄のお客様数の比較(\*1日当たり, 単位:万人)】

地下鉄全体



定期・定期外

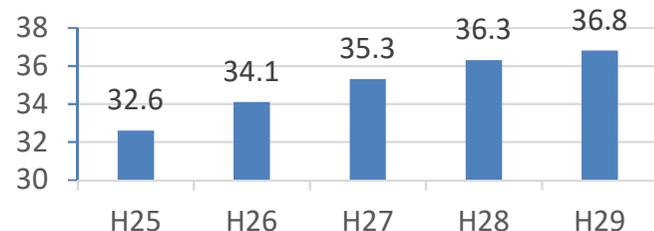


## ② 市バスお客様数

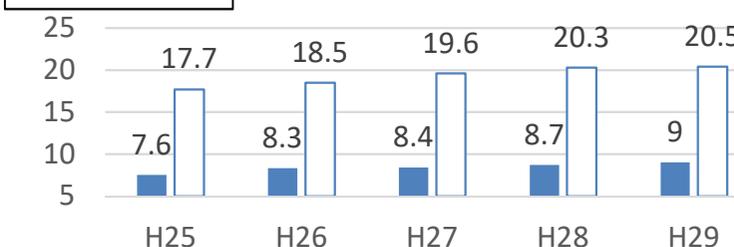
29年度の市バスのお客様数は36万8千人で、対前年比で5千人増(+1.4%)となりました。  
うち、定期券は3千人増(+3.9%)、定期外は2千人増(+0.9%)でした。

【25～29年度 市バスのお客様数の比較(\*1日当たり, 単位:万人)】

市バス全体



定期・定期外



## 【参考2】 地下鉄駅別のお客様数について

地下鉄における29年度の路線別お客様数は、烏丸線で対前年度比1.43%の増、東西線で3.4%の増となりました。

駅別では、入城者数が好調な二条城最寄りの「二条城前駅」が対前年度比19.91%、桜の開花時期の影響で、「蹴上駅」が10.52%、「醍醐駅」が7.88%と大幅に増加した一方、京都市美術館が休館している「東山駅」、大規模会議が少なかった「国際会館駅」等で減少しています。

(単位 人/1日当たり)

	28年度	29年度	増減数	増減率
烏丸線				
国際会館	12,941	12,759	△182	△1.41%
松ヶ崎	5,907	5,818	△89	△1.51%
北山	7,024	7,223	199	2.83%
北大路	15,052	15,209	157	1.04%
鞍馬口	4,978	5,066	88	1.77%
今出川	13,733	13,775	42	0.31%
丸太町	10,836	11,063	227	2.09%
烏丸御池	17,413	18,285	872	5.01%
四条	48,941	49,604	663	1.35%
五条	6,953	7,208	255	3.67%
京都	61,993	62,988	995	1.61%
九条	2,570	2,686	116	4.51%
十条	3,641	3,600	△41	△1.13%
くいな橋	2,869	2,956	87	3.03%
竹田	9,665	9,688	23	0.24%
近鉄連絡	16,353	16,380	27	0.17%
烏丸線計	240,869	244,308	3,439	1.43%
東西線				
六地藏	6,683	6,710	27	0.40%
石田	3,336	3,495	159	4.77%
醍醐	6,181	6,668	487	7.88%
小野	3,565	3,709	144	4.04%
柳辻	8,193	8,533	340	4.15%
東野	5,697	6,054	357	6.27%
山科	21,566	21,665	99	0.46%
御陵	4,122	4,164	42	1.02%
蹴上	5,144	5,685	541	10.52%
東山	9,449	9,256	△193	△2.04%
三条京阪	12,931	13,402	471	3.64%
京都市役所前	13,181	13,748	567	4.30%
烏丸御池	5,230	5,490	260	4.97%
二条城前	4,354	5,221	867	19.91%
二条	9,985	10,281	296	2.96%
西大路御池	6,057	6,105	48	0.79%
太秦天神川	8,566	8,751	185	2.16%
京阪連絡	4,107	4,120	13	0.32%
東西線計	138,347	143,057	4,710	3.40%

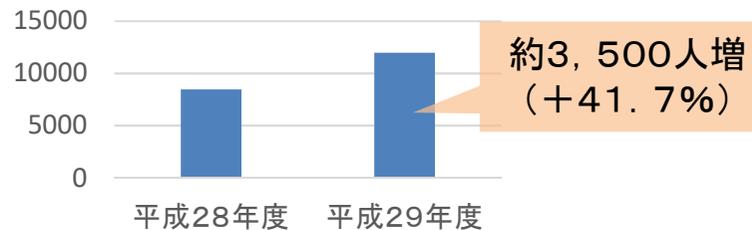
## 2-1 重点方針を踏まえた29年度の主な取組例①

### イベントによる増客

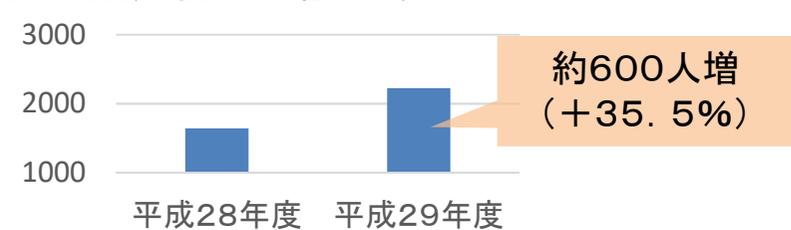
【二条城アートアクアリウム城】(10月25日(水)～12月11日(月))

二条城において26年度、27年度に開催され好評を博した催しが2年ぶりに開催

○地下鉄「二条城前駅」の開催期間中1日当たりの改札通過乗降人員(前年同曜日比, 単位:人)

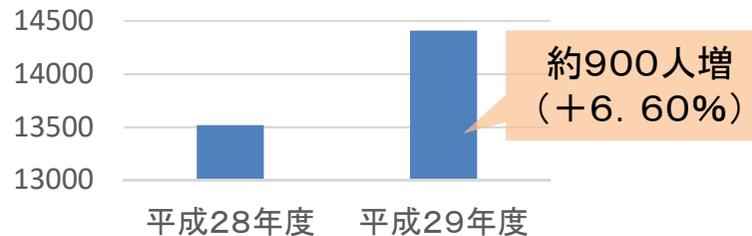


○「二条城前」バス停留所の開催期間中1日当たりの降車客数(前年同曜日比, 単位:人)



【東山花灯路】(3月9日(金)～18日(日))

○地下鉄「東山駅」の開催期間中1日当たりの改札通過人員(対前年同曜日比, 単位:人)



【特別展覧会「国宝」】(10月3日(火)～11月26日(日))

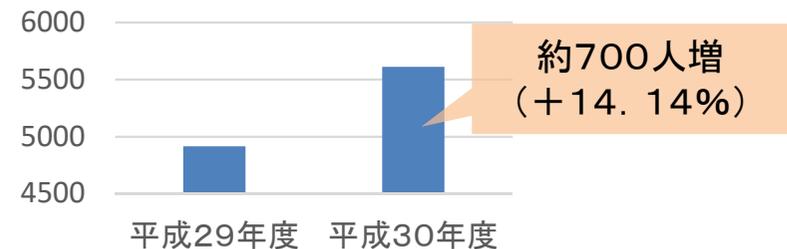
○「博物館三十三間堂前」バス停留所の10月11日の1日当たりの降車客数(対前年同曜日比, 単位:人)



### 施設整備による増客

【山之内浄水場の跡地活用(大和学園の開設(4月))】

○太秦天神川駅の定期のお客様数  
(4月の1日当たりの改札通過人員(単位:人))



## 2-2 重点方針を踏まえた29年度の主な取組例②

更なる増客を図るため、全庁体制の取組に加えて、「チーム『電車・バスに乗るっ』」において、民間と行政の共汗（協働）で人と公共交通優先のまちづくりに寄与する活動を展開  
 （29年7月に設立、今年5月に新たに4団体が加入し、42団体で構成。）

【チーム「電車・バスに乗るっ」参画団体（30年5月現在）】

○ 各種団体の皆様（27団体 五十音順・敬称略）

叡山電鉄(株)
京都駅ビル開発(株)
京都御池地下街(株)
京都学園大学
京都国際マンガミュージアム
京都国立博物館
(公財)京都市音楽芸術文化振興財団
(公社)京都市観光協会
京都シティ開発(株)
京都市内博物館施設連絡協議会
京都醍醐センター(株)
京都バス(株)
京都府京都文化博物館
(公財)京都文化交流コンベンションビューロー
京阪電気鉄道(株)
京福電気鉄道(株)
ジェイアール京都伊勢丹
大丸京都店
高島屋京都店
東映太秦映画村
西日本旅客鉄道(株)
阪急電鉄(株)
東山三ヶ寺巡り

BiVi二条
(株)藤井大丸
平安女学院大学国際観光学部
元離宮二条城事務所
○ 京都市（15団体）
総合企画局
文化市民局
産業観光局
保健福祉局
都市計画局
左京区役所
中京区役所
東山区役所
山科区役所
下京区役所
右京区役所
伏見区役所醍醐支所
教育委員会事務局
若手職員増客チーム
交通局

## 2-3 「チーム『電車・バスに乗るっ』」における29年度の主な取組例

### 【JR西日本×交通局】

電車とバスを組み合わせた観光ルートのPR

- ・平成29年11月～
- ・JR西日本WEBサイト内特設サイト及びアプリにおいて鉄道とバスを組み合わせた観光ルートをPR。
- ・JR関西空港駅等で、観光ルートをPRする英語チラシを配布→11月下旬から配布した1万枚の英語チラシは1月上旬ですべて無くなり、好評であったことから、順次増刷。

Destination	Example routes from Kyoto Station	Time	Fare per person
Osaka	Kyoto Station → Osaka Station (JR) → Osaka Airport (Bus)	20 min	1,100円 + 200円
Nara	Kyoto Station → Nara Station (JR) → Nara Park (Bus)	30 min	1,100円 + 200円
Uji	Kyoto Station → Uji Station (JR) → Uji Park (Bus)	15 min	1,100円 + 200円
Maibara	Kyoto Station → Maibara Station (JR) → Maibara Park (Bus)	15 min	1,100円 + 200円
Yamanashi	Kyoto Station → Yamanashi Station (JR) → Yamanashi Park (Bus)	15 min	1,100円 + 200円
Yamanashi	Kyoto Station → Yamanashi Station (JR) → Yamanashi Park (Bus)	15 min	1,100円 + 200円
Yamanashi	Kyoto Station → Yamanashi Station (JR) → Yamanashi Park (Bus)	15 min	1,100円 + 200円
Yamanashi	Kyoto Station → Yamanashi Station (JR) → Yamanashi Park (Bus)	15 min	1,100円 + 200円

### 【ゼスト御池×若手職員増客チーム】

チョコと日本酒のマリアージュ バレンタインはちよこっと乾杯！

- ・平成30年2月12日(月・休)
- ・沿線のチョコレート専門店などの出張販売や、チョコレートに合う京都の日本酒、京焼・清水焼のお猪口の販売を行うイベントを開催
- ・来場者数：約3,000人



### 【大丸京都店×産業観光局×若手職員増客チーム】

京都・烏丸酒灯路—2018

- ・平成30年3月9日(金)～3月18日(日)
- ・大丸京都店屋上において、公共交通の利用促進と伝統産業の振興を目的に、酒瓶行灯等によるライトアップや日本酒をはじめとする飲食物を提供(有料)するイベントを開催
- ・来場者数：1,400人



### 【文化市民局(動物園)×若手職員増客チーム】

ZOOっと一緒 地下鉄パンまつりin岡崎

- ・平成30年3月25日(日)
- ・地下鉄沿線の店舗によるパン、コーヒーの出張販売(16店舗)と動物園のPRなどを行うイベントを開催
- ・来場者数：約8,000人



### 3 今後の取組(「プラス4万5千人」に向けた視点)

地下鉄・市バスお客様1日80万人を達成するためには、「地下鉄・市バスお客様1日80万人に向けたアクションプログラムの重点方針」

- ① 地下鉄・市バスのネットワークを核としたまちづくりの推進
- ② 地下鉄沿線・市バス運行エリアでの観光・集客イベントの開催
- ③ 地域や事業者との協働による公共交通優先の「歩くまち・京都」の取組推進

を強力に推進していく必要がある。

#### 平成30年度の主な取組の予定

##### i 地下鉄沿線や市バス運行エリアでの施設整備

- 国立京都国際会館・多目的ホール(2,500人規模)の整備
- 京都駅西部エリアの活性化
- 地下鉄駅周辺等への宿泊施設・商業施設の誘致 … など

##### ii 地下鉄沿線や市バス運行エリアでのイベントの開催

- 明治150年・京都のキセキ・プロジェクト
- 京都・パリ友情盟約締結60周年関連事業 … など

##### iii 地下鉄・市バスのネットワークを活かした増客

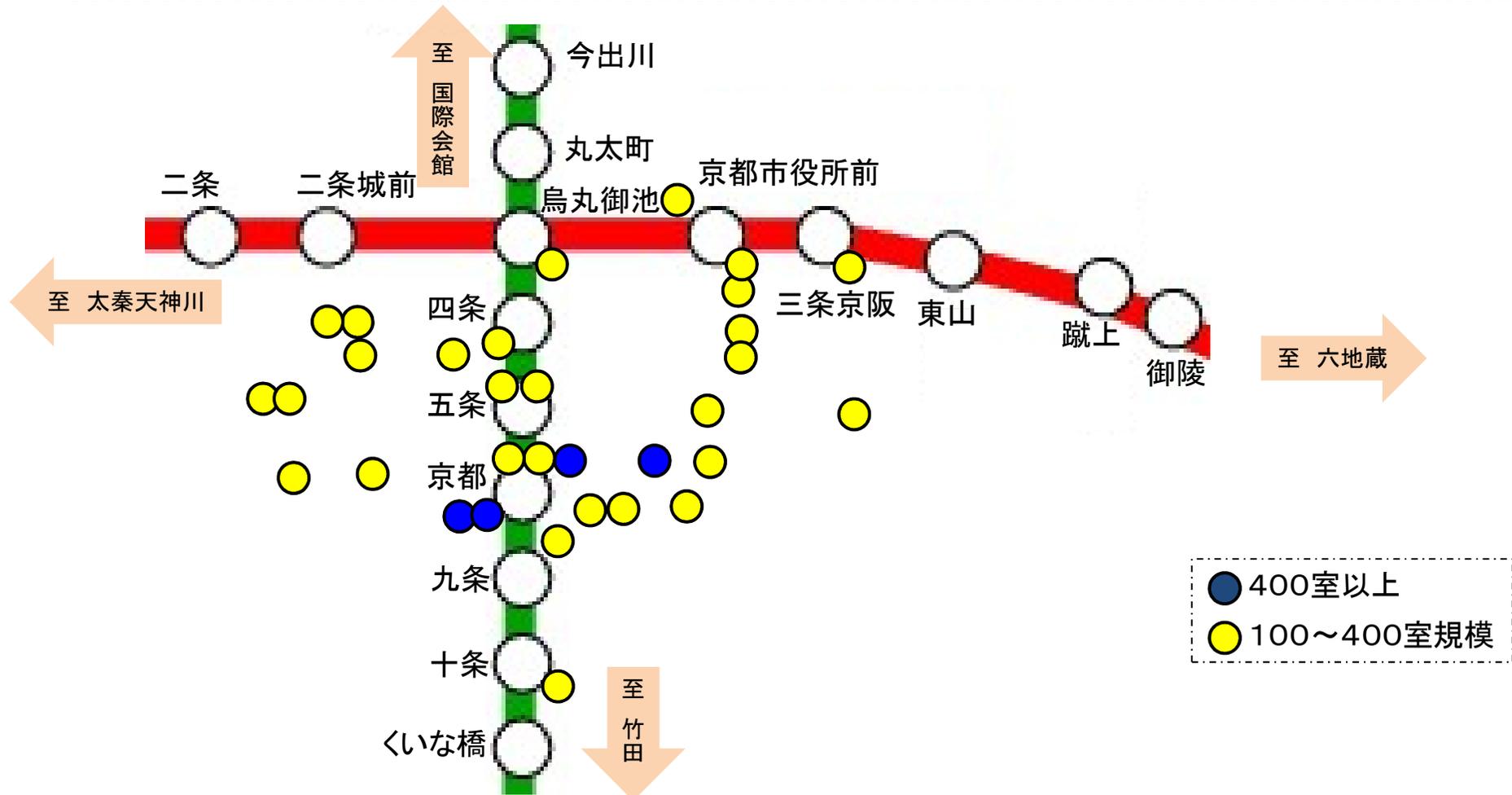
- 地下鉄・バス一日券(平成30年3月にリニューアル, 1200円→900円に値下げ)を活用し, 地下鉄とバスを効率的に組み合わせた, 観光地までのスムーズな移動方法のPR … など

##### iv チーム「電車・バスに乗るっ」の取組

- FUN+WALKラリー(高島屋×保健福祉局×交通局)
- ICOMプレイベント … など

## 【参考3】30年度・31年度に開業が予定されている主なホテルについて

- 事業者等が既に公表している30年度・31年度に開業予定の100室以上のホテルを地下鉄沿線にプロットしたもの
- 京都駅周辺で約3,000室、四条駅周辺で約700室、京都市役所前駅周辺で約600室、五条駅周辺で約500室、四条河原町周辺で約300室の開業が予定されている。



# 【参考4】市バス・地下鉄経営ビジョンの策定

平成31年度から10年間の経営ビジョンを、今後、パブリックコメントの実施を経て、今年度中に策定

交通局の  
役割

～ 市民の暮らしとまちを支える市バス・地下鉄 ～

ひとと公共交通優先の「歩くまち・京都」をリードする主要交通インフラとして、人口減少社会に挑戦する本市のまちづくりの核として、市民の皆様のご生活と都市活動をしっかりと支えます。

## 【今後の財政需要】

### 〈市バス〉

・今後、500両を超える車両更新はじめ、その他の運営経費も増が見込まれる

- 10年間では収支不足計△24億円
- 輸送力増加などの投資を行いながら、収支不足を解消していくためには、30年度予算から2万人程度のお客様数の増加を図ることが必要

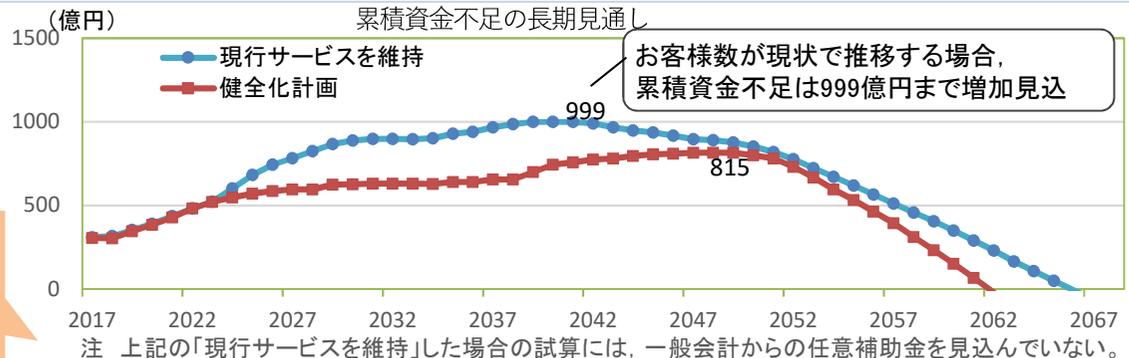
◆ 現状の事業を継続し、お客様数が現状で推移する場合の試算



### 〈地下鉄〉

・未だ全国一厳しい経営状況の中、今後、車両設備更新費用は700億円超の多額が必要  
・経営健全化対策出資金の繰入れが終了し、累積資金不足が大幅に増加

- 可動式ホーム柵の全駅設置などに取り組みながら、累積資金不足を健全化計画並みの800億円程度に抑制するためには30年度予算から2万人程度のお客様数の増加を図ることが必要



今後の  
方向

- これまでの取組の成果を踏まえ、安全・安心はもとより、引き続きお客様目線に立った利便性・快適性の向上に取り組み、より市バス・地下鉄の利用促進を図り、更なる増客につなげていく。
- このことにより、安定的な運営を継続して更なるサービス向上につなげ、市民の暮らしとまちの活動を支えていく。
- また、市バス・地下鉄について、市民の皆様にもしっかりと情報発信を行い、交通局の取組に対してご理解いただきながら、市民や民間事業者、行政が一体となって公共交通優先のまちづくりにつながるよう取り組んでいく。